

Stage Up

ス テ ー ジ ア ッ プ VOL.210 2016年6月1日 (隔月発行)

もくじ



2 まち・ひと・多面体

- ・天まで届け！かわさき色輪っかつなぎ
- ・自然の宝庫、日向山を次々に引き継ぐ

3 シニアのパレット

- ・NPO法人かわさき創造プロジェクト代表 大下勝巳さん

4 特集

- ・ぜひ活用したい！川崎市立図書館

6 施設めぐり

- ・石川記念武道館
- ・地名資料室
- ・教育文化会館

7 情報ポケット

- ・陶芸教室受講生募集
- ・ロビーコンサート

8 募集案内

- ・ふれあいサマーキャンプ参加者募集
- ・夏休み特別講座 楽しいキッズセミナー

〈川崎百景〉さとう菊夫シリーズ② 溝口駅裏 1992年アクリル

JR南武線と東急田園都市線が立体交差している溝の口駅裏には、戦後の風景が生き残っている。やき鳥を食べながらコップ酒を立ち飲みする庶民の通りの賑わいは、変わることなくつづいている。【20数年～40年ほど前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられたさとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします】



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ Eメール:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

**天まで届け！かわさき色輪っかつなぎ
「色輪っかつなぎ実行委員会」の取組**

「天まで届け！かわさき色輪っかつなぎ」は、川崎の自然・歴史・産業などの資源から選んだ20色の「かわさき折り紙」の短冊をつないで、1本の“色輪っかつなぎ”をつくらうというイベントです。



①かわさき折り紙 ②20色5本の短冊 ③願い入り色輪っか

①かわさき折り紙から②1枚で5本の短冊をとり、③願いを書き込んだ色輪っかをつくりま

す。それぞれつないだ色輪っかをまたつなぎ、《共同作業》を通して、市民としての一体感と地域愛を育むことを目的としています。

初めての“色輪っかつなぎ”は、川崎市イメージアップ事業に認定され、市民グループ「からふる！」の主催で、2014年7月6日(日)に、約60,000枚の短冊を使い全長約2.2kmの色輪っかをつないで、せせらぎ館の横の広場に天の川をつくりました。

2015年からは、賛同したいろいろな立場の市民が協力して「かわさき色輪っかつなぎ実行委員会」を結成して新たにスタートしました。

2015年7月4日(土)に行われた「色輪っかつなぎ2015」では、93,000枚の短冊で、全長約3.3kmの市松模様の色輪っかを二ヶ領せせらぎ館横の多摩川の河原でつなぎました。



つなげた色輪っか

「色輪っかつなぎ2016」7月9日(土)

今年7月9日に、15万枚の色輪っかをつなぐ予定です。色輪っかつなぎ実行委員会の委員長の村瀬成人さんは、毎年テーマを持って継続し、2024(平成36)年、川崎市の市制100周年には、「色輪っかつなぎ」を、多摩川の河口から稲城市多摩川原橋の手前まで、全長28キロメートルをつなぐという遠大な目標を持っています。



村瀬さん

村瀬さんは「面白いこと、初めてのこと、意味のあること、驚きのあること、4つの頭文字」ととった「オハイオ」という言葉を大事にしています。

川崎市や地域の様々なプロジェクトをプロデュースすることを楽しみにしており、「色輪っかつなぎ」もその中の一つとして活動しています。人と人の心をつなぎ、難しいさまざまな課題を解決していこうとする熱き気概を村瀬さんから感じ取ることができます。

■問合せ 村瀬成人さん Tel 090-2704-0119

**自然の宝庫、日向山を次代に引き継ぐ
「日向山うるわし会」の取組**

東生田遊歩道コースの日向山を歩いてみると、コースはとてもきれいに整備されていることに驚きます。掲示板で、日向山うるわし会(以下:うるわし会)が、管理活動をしていることが分かりました。

小田急線向ヶ丘遊園駅から生田駅に向かう途中の北側に、東生田緑地(通称:日向山の森)があります。多摩区市民健康の森にもなっています。2002年、多摩の里山「日向山の森」を次代に残すことを目標に、ボランティアの市民が中心となり、「次代に残そう多摩の里山」を合言葉に、うるわし会が発足しました。会員は、現在約60名です。

毎月1回(奇数月は第3土曜日、偶数月は第3日曜日)全体活動(木々の伐採や草刈等の作業)をしています。例年4月に総会、11月に「自然と遊ぼう」、1月には、「ひなた山ぼっこ祭り」があります。

2016年1月に行われた第13回「ひなた山ぼっこ祭り」には、子どもたちも含め400人以上が参加して、様々な活動を通して、楽しい一日を過ごすことができました。



ひなた山ぼっこ祭り

今年度の第14回「ひなた山ぼっこ祭り」は、2017年1月22日に予定されています。



大江原さん

代表の大江原正幸さんは、一日中遊んだ子どもたちから、「帰りたくない」「まだ遊びたい」と言われる時に、自分たちの活動にやりがいを感じてうれしい気持ちになるそうです。

落ち葉で作った腐葉土に、カブトムシの幼虫が育っていました。カラスから幼虫を守るために、落ち葉の上には、丸太を載せて、カラスからの攻撃を防いでいるそうです。幼虫を大事に見守ってあげる優しさにふれ、あたたかな気持ちになりました。



落ち葉の腐葉土

日向山うるわし会のみなさんは、自然の宝庫である日向山の森からの贈り物を次代に引き継ぐために、地



竹のトンネル

元の高校生と階段や竹のトンネルづくりをしたり、子どもたちが喜んでくれる道具作りをしたりしています。

「日向山うるわし会」のホームページでは、たくさんの写真が掲載されています。会員の山田康元さんをはじめ会員のみなさんが撮影した樹木や美しい草花の写真を見ることができます。

■問合せ 大江原正幸さん Tel 044-933-9246

NPO法人 かわさき創造プロジェクト代表 大下勝巳さん



大下勝巳さん

「NPO法人かわさき創造プロジェクト」の代表理事(2009年～)を務めています。おやじの会「いたか」の世話人や、健康生きがいづくりアドバイザーも務めています。

大下勝巳さんは今年5月まで、当財団の理事でもあり、2005年4月、政令指定都市として初めて、民間から宮前区長に就任しました。

現在、豊かなシニアライフ構築をめざすことや地域参加の機会と場を提供することを目的とした

かわさき創造プロジェクトの設立の背景と概要

2004年5月、川崎市が主催した「シニア地域活動モデル創造ワークショップ」に参加したシニア約30人は1年間、専門家の指導・助言を得ながら地域活性化の手法や課題解決のノウハウを学び、2005年5月、IT関係に詳しいメンバーが中心になって任意団体「かわさき創造プロジェクト」を立ち上げました。

2006年4月、NPO法人となり地域のニーズと豊かなシニアライフ構築に向け様々な事業を推進。スタート時点ではシニアや小学生を対象とするパソコン学習支援が主な活動でした。



かわさき創造プロジェクトのシンボルマーク(HPから)



現在、会員も80余名となり、シニアの皆さんに地域参加の機会と場を提供することを目的として、次の事業を行っています。シニアパワーアップ事業、シニア及び小学生のパソコン学習支援、シニア向けのイベントなどをHPで紹介する川崎シニアポータル「かわぼ」事業、遊びと学びの寺子屋(中野島)。

草分的な存在、おやじの会「いたか」

教育委員会と民生局の共同企画事業「父親家庭教育学級(1982.10～83.1全10回)」が、大下さんの地域ライフのはじまりでした。参加した15人の皆さんの参加動

機は「女房にしつこく言われて、しぶしぶ来た」「参加する・しないで夫婦喧嘩が絶えなくて」「断ったら、朝ごはんが出てこなくなった」「参加しないのなら私にも考えがある、と妻にいわれて」等、大下さんも含め、奥様から背中を押されて参加した方が多かったようです。ところが、10回目の閉講式のさよならパーティで「せっかく知り合ったのだから、今日で解散してしまうのは惜しい。月に一度は集まろう。」と、1983年3月、おやじの会の「いたか」が誕生。名前は、会社人間のおやじと、たまに顔を合わせた子どもが言った「あっ、お父さん、いたか!」でした。2013年に30周年を迎えました。他の地域のおやじの会と、「川崎おやじ連」(6団体)を結成し、市民ミュージアムと年2回、連携イベントを行っています。



「いたか」30周年記念誌

1994年2月13日には、「川崎おやじ連」キックオフ(旗揚げ)宣言がありました。記念講演で樋口恵子先生から“濡れ落ち葉 自分で乾いて 舞い上がれ”と激励してもらったことが、今でも懐かしく甦ってくるそうです。また、おやじ連が創った「平成おやじ版 雨ニモマケズ」も紹介されました。本誌ステージアップの114号にも掲載しましたが、「雨ニモマケズ、ストレスニモマケズ、上司ニモ部下ノ突キ上ゲニモマケズ、丈夫ナ心臓ヲモチ、欲ハナク 決シテイバラズ、妻ノ手ノ平デオドッテイルフリヲシ(後略)」は、実にユーモアとペーソスがあり、遊び心溢れる「雨ニモマケズ」になっています。

地域の人間環境づくり

大下さんの書いた「働き盛りは生きがいづくり」まつやま書房(1997年5月発行)には、まだ私鉄にエレベーターが設置されていない時の話がありました。内容を要約すると、「駅の改札口が2階となり、階段を54段上がらないと切符を買えない、電車に乗るには、1階のホームまで20段の階段を降りなければならない。地元のお年寄り、1階で乗り降りできる隣の駅までタクシーやバスを使っていた。」という話でした。地域には様々な人たちがいるので、地域社会の人と人との関係を新しくつくっていくことが大事、地域の人間環境づくりこそまちづくりに不可欠な要素といっています。

大下さんの故郷は和歌山県新宮市で、那智勝浦町の北にあたります。世界文化遺産「熊野古道」の中辺路70kmを歩き、熊野の歴史的な背景を挿入してパワーポイントに収録。「日本一のパワースポット」と題し地域で“自称熊野古道語り部”をしています。

■問合せ 大下勝巳さん TEL 044-976-0303

特集

ぜひ活用したい！川崎市立図書館 蔵書検索・予約・自動貸出機等、便利になっています。

川崎市立図書館は、全ての蔵書へICタグを付けて、貸出・返却の効率化を図っています。市立図書館の全蔵書を回送することにより、予約された図書を提供しています。中原図書館は、自動予約棚が整備されており自動貸出システムの利用率も高くなっています。

ホームページから、本を予約することも可能です。また、子どもページには、子ども読書100選（小学校低学年版・高学年版・中学生版）や調べ物の道しるべとしてパスファインダーを掲載しています。

■利用者登録（図書貸出カード）

本を借りるために「貸出カード」を作成（作成には、本人およびご住所の確認できるもの「健康保険証、運転免許証等」が必要）する。
（3年ごとに住所を確認）



■借りる

市立図書館全館で、本・雑誌10冊、CD3点以内で2週間、CD・予約のある本・他都市借用の本を除き、2週間延長も可能。

■予約・リクエスト

予約はひとり、本・雑誌10冊、CD3点まで。

■コピー

図書館の資料に限り、著作権法の範囲内でコピー可能。

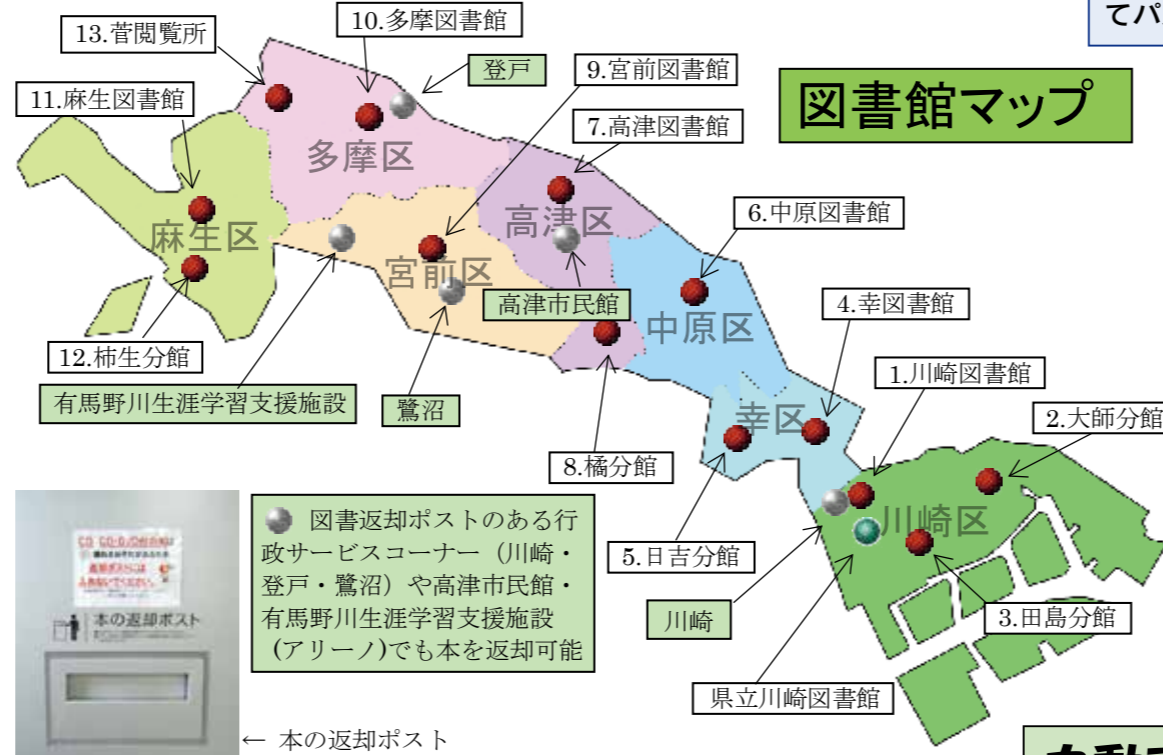
■開館時間

図書館（川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生）
平日 午前9時30分～午後7時（※中原図書館は午後9時まで）
土曜日・日曜日・国民の祝日 午前9時30分～午後5時

分館（大師・田島・日吉・橋・柿生）

平日 午前10時～午後6時
土曜日・日曜日・国民の祝日 午前10時～午後5時

菅閲覧所 火曜日～日曜日 午前10時～午後5時



図書館マップ

■川崎市立図書館（平成27年3月現在）

館名	電話番号	蔵書数	閲覧席
1. 川崎図書館	200-7011	18.1万	28
2. 大師分館	266-3550	4.9万	10
3. 田島分館	333-9120	4.7万	12
4. 幸図書館	541-3915	15.4万	54
5. 日吉分館	587-1491	4.0万	13
6. 中原図書館	722-4932	36.6万	201
7. 高津図書館	822-2413	25.6万	148
8. 橋分館	788-1531	3.9万	15
9. 宮前図書館	888-3918	25.0万	74
10. 多摩図書館	935-3400	26.9万	83
11. 麻生図書館	951-1305	20.7万	74
12. 柿生分館	986-6470	4.1万	44
13. 菅閲覧所	946-3271	3.2万	46
※県立川崎図書館	233-4537		
※柿生分館は学校図書室含む			



名前：左)つばきくん、右)つばきちゃん、下)つつじ犬
プロフィール：市民の木「つばき」、市民の花「つつじ」から生まれた図書館キャラクターです。図書館からのお知らせやお願いを伝えています。

こんなに便利な自動貸出機 ポン、ピー、タッチでシートに印刷

本棚から読みたい本を選び、
カードを持って、自動貸出機へ。

- ①はじめに黒い台に本を「ポン」と置く（重ねてOK）
- ②貸出カードのバーコードをかざす「ピー」
（机に貼った白い紙の上へ持つてくるのがコツ）
※カードの取り忘れに注意
- ③パネルから冊数を選択「タッチ」 → 開始をクリック
- ④貸出資料名 ID が 正しければ「貸出」をクリック 貸出手続きを行います
- ⑤「〇〇図書館」「資料名」「返却期限」が印刷された貸出レシートが出来ます。

※「貸出レシート」には

・ 図書館名、電話番号

<例>
・ 貸出日 2016/06/01
・ 現在貸出資料数 8
・ 貸出資料名、資料ID、返却期限のちと平和の話をしよう
430015688111
(16/06/15) 等の記入あり。



自動車文庫たちばな号

図書館から遠い地域の人のために、自動車文庫「たちばな号」は、公園などで移動図書館を開設しています。

平成27年1月から、五カ田、細山が加わり、現在21箇所のポイントへ月2回巡回しています。所定の貸出ポイントに着くと、羽根のように扉が開いて本棚が出てきます。児童書と一般書を合わせて、約3,300冊の本を見ることが出来ます。子ども向けには絵本や紙芝居、楽しい読み物、ヒーローや乗り物の本を積んでいます。大人向けには、小説の他に料理や裁縫、子育ての本等を積んでいます。貸出カードも発行できます。

平成27年4月からは、他の図書館で借りた本を、たちばな号に返却することも可能になりました。



蔵書検索と利用者メニューの活用を

川崎市立図書館のホームページから蔵書検索や予約ができます。利用者メニューでは、自分の貸出状況照会や予約状況照会等を利用することができます。

予約状況照会

トップページ > ログイン > メニュー > 予約照会

予約中の本などの一覧です。
(現在のデータとは違う場合があります。)

該当件数: 2件

No.	冊	タイトル	受取場所	取置き期限日	予約状況	順位	予約日	連絡方法
1		虚無感について-心理学と哲学への挑戦-	中原図書館		予約中です	2	2016年3月5日	メール
2		自分という前題 (PHP文庫 い89-2)	中原図書館		予約中です	1	2016年3月30日	メール

受取場所の貸出希望する

メニューへ戻る

「貸出状況照会」画面では、返却期限日や自分の借りている本を予約している人がいるか確認できます。

「予約状況照会」画面では、書名のタイトルや予約の順位が分かります。また、「予約変更（受取場所）」や「予約取り消し」ができます。

※メールが届かないケースもあるので、利用者メニューで、こまめに確認することをおすすめします。

施設めぐり

幸
区

石川記念武道館

川崎駅西口北よりバス 溝の口駅行き・市民ミュージアム行き・小杉駅前
行き 武道館前下車/小杉駅前よりバス 川崎駅西口北行き小向西町下車
Tel 044-544-0493

礼儀を学ぶ・心を学ぶ!

相手を思いやる心から・・・

そして、自分と向きあうことのできる
大切な時間つなく・人をつなく

武道教室や演武会を開催するなど、各種武道の普及、振興の拠点としての機能を果たしています。

石川記念武道館は、昭和52(1977)年に以前御幸支所があったところに建設された県下初の市立武道館です。川崎の剣道の育ての親と言われる石川八代次範士(範士:全日本剣道連盟によって与えられる最高位の称号)の功績を記念して設立されました。

【利用について】 ※平日の料金(土日2割増)

☆第4月曜日(祝日の場合・翌日火曜日)と年末年始以外の毎日

☆団体・個人のいずれも可

個人(学生と20歳未満) 100円
(大人) 200円

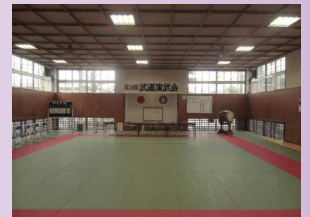
団体	午前	9:00 ~ 12:00	1,600円
	午後1	12:10 ~ 15:10	1,900円
	午後2	15:20 ~ 18:20	2,200円
	夜間	18:30 ~ 21:30	2,500円
	全日		7,500円

☆各種武道教室・幼児スポーツ、ヨガ、ピラティス教室もあります!

※詳しくは、電話・ホームページでご確認ください。



石川記念武道館正面



1階 柔道場

高
津
区

地名資料室

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝の口駅下車徒歩5分
生活文化会館(てくのかわさき4F) Tel 044-812-1102

地名の由来を知りたい・・・

そんなときは地名資料室へ

まちの移り変わりを調べたい、江戸時代の川崎を研究したい、まち歩き資料を集めたい、二ヶ領用水を調べたい、自由研究や調べ学習の資料を集めたい、地図を見て土地のようすを知りたいとき等に、地名資料室をご利用ください。

地名に関する文献、全国の主な郡誌・自治体史、川崎市と近隣の郷土史に関する文献、地名・歴史・地理・民俗などに関する辞典類と、絵図・古地図の複写版、明治・大正期の地図の複写版、国土地理院発行の全国の新旧地形図などを閲覧することができます。



地名資料室閲覧エリア

平成28年度 主な事業(予定)

教育普及事業を実施しています。

◎親子地名学習室(地名をもっと知ろう)

夏休み宿題相談(7/22~8/7)

◎地名散歩「中原街道」

(10/29,16,23)

シリーズ第5回最終年(寒川神社、田村の渡し、中原御殿など)

◎地名塾(1/24,31,2/7,

14,21) 地理・歴史・

民俗などから地名の

魅力について学びます。



地名散歩

川
崎
区

教育文化会館

JR川崎駅 徒歩15分 / 京急川崎駅 徒歩13分
Tel 電話 044-233-6361

活用されている大ホール

川崎区における市民の学習・文化活動の拠点となる社会教育施設です。川崎駅に近い立地条件の良さから、多目的ホールとして設計された、かつて東洋一を誇った大ホール(定員1,961名)は、コンサート、演劇、音楽会、講演会をはじめとする数多くのイベントが開催されています。

その一つとして、「つくろうよコンサート」は、吹奏楽の経験のある方が集まって、一度きりの吹奏楽団を結成して大ホールで演奏するコンサートです。



用途に合わせて様々な部屋を利用できます

1階の市民ギャラリーでは、芸術文化活動の奨励・普及のために書道、写真、絵画、工芸品などの創作品を展示・発表する場として利用されています。また、イベントホールもあります。

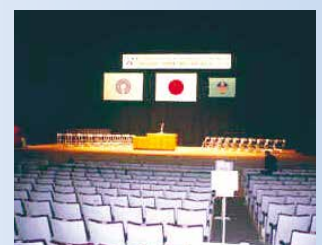
2階~3階には会議室、4階~5階には教養室(学習室・実習室)があります。美術工芸室、茶華道教室(和室)、視聴覚教室や料理教室等もあります。6階には、300名を収容できる大会議室があります。



1階 市民ギャラリー



5階 茶華道教室



大ホール

平成28年度 第Ⅱ期

陶芸教室 受講生募集

- ・受講対象者は18歳以上
- ※) 電動ろくろ希望者は手びねり経験者に限ります。
- ・費用には、受講料以外に教材費(粘土・釉薬・焼成)が含まれています。
- ・講座は全12回、陶芸家の先生の学習計画にそってすすめます。
- ・定員を超えた場合は、抽選になります。初めての方を優先しています。
- ・詳細の案内チラシは、区役所・市民館・図書館の情報コーナー等に置いています。
- ・**申込み締切：7月4日(月)です。(必着) ※往復ハガキでお申し込みください。**



コース	水曜手びねり	水曜電動ろくろ	土曜手びねり	土曜電動ろくろ
期間	8月3日～11月9日		8月6日～11月19日	
時間	9:30～12:30	13:30～16:30	9:30～12:30	13:30～16:30
定員	15名	10名	15名	10名
費用	33,000円	39,000円	33,000円	39,000円
講師	陶芸家 三宅 直子 先生		陶芸家 花塚 愛 先生	



■問合せ 川崎市生涯学習財団 事業推進室陶芸担当
 〒211-0064 中原区今井南町28-41 TEL 044-733-5893 Eメール suisin6@kpal.or.jp

川崎市生涯学習プラザ ランチタイムロビーコンサート

無料

川崎市生涯学習プラザでは、毎月1回(8月は実施なし)30分間のランチタイムロビーコンサートを開催しています。



お昼のひとときを音楽で♪



■会場 川崎市生涯学習プラザ1階ロビー
 ■時間 12:10～12:40



さまざまなジャンルの音楽で演出♪
 アットホームな感じで楽しめます♪

■今後の開催日と出演予定■

- 6/25(土) 金管アンサンブル King-O (トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ)
- 7/12(火) アンサンブル・トゥッティ (うた、ピアノ)
- 9/15(木) 宵街小町 (フルート)
- 10/19(水) くちぶえ奏者りょうすけ (くちぶえ)

どなたでもお気軽にお越しください♪

※ご出演希望やロビーコンサートの詳細については川崎市生涯学習プラザのホームページをご覧ください。
 ホームページ <http://www.kpal.or.jp>

※現在出演者募集はお申込み多数の為一時停止させていただいております。
 29年度のご出演は28年度半ばくらいに募集させていただきます。

あ と が き

図書館の取材でいろいろと経験できました。「貸出カード」の作成。図書館にある本を「自動貸出機」で貸出。ホームページから「蔵書検索」で予約、中原図書館の「予約本受取コーナー」から貸出。予約して借りた本5冊は、すべて違う図書館のシールが貼ってありました。1冊の本が、借りる人の手に届くまでに、いったい何人の方々のお世話になっているのでしょうか。①予約確認②他の館へ発注③他の館にある本棚から探して貸出館へ発送準備④車で配送⑤貸出準備⑥本人へメール告知等々。元の館へ返却は、この逆。5冊借りると5倍の作業。感謝しながら今日も本を読んでいます。

2016年度 川崎市青少年地域間交流事業

ふれあいサマーキャンプ 参加者募集 !!

夏休み、大自然の中で素敵な体験が皆さんを待っています。川崎市の代表として楽しく文化交流を体験してください。



■参加対象：市内在住、在学の小学校5年生～中学校2年生。※参加費は、集合（解散）からの往復交通費。宿泊・食事代・保険料を含む。雨天決行



《代表的な体験》

- ①益田市「川遊び」
- ②古座川町・太地町「カヌー」
- ③富士見町「カレーづくり」
- ④花巻市「SL乗車」
- ⑤中標津町「溪流釣り」

コース名	日 程	募集人数	参加費
島根県 益田市	7月23日(土)～7月26日(火)	小学生 14人	45,000円
		中学生 6人	47,000円
和歌山県 古座川町・太地町	7月26日(火)～7月29日(金)	小学生 16人	39,000円
		中学生 8人	52,000円
長野県 富士見町	7月30日(土)～8月 2日(火)	小学生 30人	20,000円
		中学生 10人	22,000円
岩手県 花巻市	8月 2日(火)～8月 5日(金)	小学生 16人	40,000円
		中学生 8人	51,000円
北海道 中標津町	8月17日(水)～8月20日(土)	小学生 16人	54,000円
		中学生 8人	57,000円

【申込みについて】

○期日：5月20日(金)～6月3日(金)必着

○方法：FAX・ハガキ、Eメールで参加希望者（2人以内）の氏名（ふりがな）、住所、電話番号、学校名、学年、性別、生年月日、希望コース（第2希望まで）を明記し、下記までお送りください。

《定員を超えた場合は抽選となります。》

* 6月11日(土)午後3時より公開抽選を行います。(川崎市生涯学習プラザにて)

* 6月25日(土)参加者説明会(生涯学習プラザ)には、参加者は保護者同伴で出席ください。

① 10:00～11:30 長野県、岩手県コース ② 14:00～15:30 島根県、和歌山県、北海道コース

* 7月2日(土)参加者追加説明会(生涯学習プラザ) 13:30～15:00

○あて先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習財団サマーキャンプ係

FAX：044-733-6697 Eメール：summer-camp@kpal.or.jp

○問合せ：(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 Tel 044-733-5572 (月～金)

*財団ホームページ <http://www.kpal.or.jp> で「ふれあいサマーキャンプ」を紹介しています。

《夏休み特別講座》 たのしい キッズセミナー

夏休みに「おもしろ科学」や「わくわく造形教室」等楽しく充実した学習活動を提供。今年度も下記の日程で実施します。

期 日 平成28年7月25日(月)～7月29日(金) (午前10時～12時、午後1時～3時)

場 所 川崎市生涯学習プラザ 川崎市中原区今井南町 28-41

指 導 者 「認定NPO法人教育活動総合サポートセンター」に登録された、市内公立学校を経験した先生方です。

対象学年 小学校3年生～6年生(原則、生涯学習プラザに通える児童)

講座内容 (23講座はそれぞれ対象学年、回数に違いがあります。応募者が少ない場合は、閉講もあります)

- ★日本語を楽しもう(全2回) ★社会科ふしぎ発見(全4回) ★算数レベルアップ①・②(各2回) ★チャレンジ算数①・②(各2回) ★楽しい理科A・B(各2回) ★おもしろ科学①・②A・B(各2回) ③A・B(全1回)
- ★わくわく造形教室A～D(各2回) ★楽しい音楽(全2回) ★楽しい英会話遊びA・B(各2回) ★キッズパソコンA・B(各5回)

申込期間 6月1日(水)～6月28日(火) 定員に満たない講座は、7月8日(金)まで、継続して募集。

申込方法 申込書に記入し、Faxまたは郵送、直接財団へ

受講料 各講座とも1回1,100円(その他通信費等として200円、保険料として1日当たり42円がかかります)

【受講料の納入は、郵便局です】※案内チラシは、中原区・高津区の全小学校(3～6年の全児童)に配布、区役所・市民館等にも置いています。

問合せ先 川崎市生涯学習財団 事業推進室

Tel 044 (733) 6626・FAX 044 (733) 6697・Eメール：suisin5@kpal.or.jp